

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570614313		
法人名	有限会社 うめの木園		
事業所名	グループホーム うめの木園		
所在地	秋田県男鹿市五里合箱井字町屋田4番地3		
自己評価作成日	平成22年11月16日	評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者がリビングでゆったりと過ごせるような環境を心掛け、笑い声の絶えない家庭的な雰囲気で行っている。
アクティビティに重点を置いた支援を心がけている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	www.akita-longlife.net/evaluation
----------	--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

年間の研修計画のもとに職員研修が行われ、職員の質の向上に努められています。また、全体会議には経営者の参加もあり、職員からの意見の聴取が行われ、事業所内の改善や処遇改善等、運営に反映されています。防災対策にも力を注ぎ、運営推進会議を通じての報告や協力依頼を行う他、毎月独自の避難訓練を行う等優れた取り組みが観られます。利用者、職員とも元気な笑い声と会話で、事業所内は明るく、家庭的な雰囲気を感じ取ることができません。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田市東通3丁目9-31		
訪問調査日	平成22年12月17日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設当初に職員で話し合いを行い理念を作っている。玄関やリビング、事務所等の目のつく場所に掲げて理念の共有を図り、日々取り組んでいる。	支え合う思いやりの気持ちを大切にされた家として温かな家庭の雰囲気の中で地域に溶け込んだ生活を理念とし、掲示や理念とは何かを話し合う機会を設け、再認識のもと、理念の共有に努めております。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元婦人部の野菜販売による購入や地域行事への参加と共に、子供会の御神輿、青年会のなまはげ行事等も積極的に受け入れている。その他保育園の遊戯披露や中学生のボランティアの受け入れ等も行っている。	散歩時の声掛けや地域の理髪店の利用、地域行事への参加や受け入れ、災害時の協力依頼等、地域の一員として日常的に交流が行われています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	地域住民から介護保険の事で相談を受けたり、グループホームの説明等を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回実施している。運営推進会議の記録を回覧して職員で周知して改善に活かしている。	今年度から2か月に1回の開催ができるようになり、状況・行事・事故・研修等の報告が詳細に行われています。また、避難訓練や感染症、介護保険制度、待機状況、市の催し物等、その時々話題に忌憚りの無い意見交換が行われ、運営に反映しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	電話での連絡だけでなく、直接窓口へ足を運び話しをするように努めている。又包括支援センター、福祉拠点センターへも出向き相談、アドバイスを受ける。	利用者の紹介依頼や困難事例等の相談、制度利用の手続き方法の助言や指導を受ける等、連携をとられています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年一回身体拘束について施設内研修を実施している。具体的事例にて理解し、身体拘束をしないケアに努めている。	身体拘束をしてはならないことを理解しており、声掛けや見守り等で対応され、拘束は行われておりません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年一回施設内の研修を計画、実施している。今年度は事例演習にて各ユニット毎に話しあった後、全体会議を行い虐待防止の徹底に努めている。		

グループホーム うめの木園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年一回施設内の研修を計画、実施している。職員全体が理解し、活用できるよう努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時だけでなく、解約時にも利用者・家族が不安にならないよう十分な協議をして理解を得るよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関前に意見箱を設ける他、苦情のポスター等も掲示して対応している。	家族等からは、面会時や電話での状況報告時に意見や要望を聞く機会を設け、利用者からは、日常会話の中で読み取るようにし、運営に反映されています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議にはできるだけ経営者も参加して意見等を聞いている。又職員と個別のヒヤリング等も実施している。	ユニット会議、全体会議で聴く機会を設け、全体会議には経営者も参加され、活発な意見、要望等が出されており、運営に積極的に反映されています。また、経営者と職員の個別面談も行われています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	福利厚生は勿論、個別ヒヤリングも行い対応している。勤務実績に合わせ資格修得を促している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は計画的に行っている他、施設内での研修も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	男鹿湯上、南秋グループホーム連絡協議会の中で積極的に開催され参加している。		

グループホーム うめの木園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接でのアセスメントだけでなく、施設見学・入居当日等でもコミュニケーションを取りながら受け止めるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面接でのアセスメントだけでなく、施設見学・入居当日等でもコミュニケーションを取りながら受け止めるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする	本人、家族だけでなく担当の介護支援専門員とも連絡を取り合い対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で出来る限り共同で物事を行うよう支援し、その状況でお互いに学んだり、共感しながら生活を行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には利用者の近況を連絡すると共に、必要に応じて協力をお願いしている。行事等では家族会に連絡して協力をお願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者からの申し出があった時には、電話での交流等を行ったり、交流の機会がある際には出かけるよう努めている。	友人・知人・親戚等との電話での交流、自宅訪問、地域の理髪店の利用、葬儀への参列、墓参り、馴染みの美容室の利用等、関係が継続できるように支援されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室で過ごす時間が多く見られるのだが、できるだけリビングで過ごせるようアクティビティ等工夫している。		

グループホーム うめの木園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	状況に合わせた対応に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で聞き取られた情報は担当者だけでなく職員全体が把握できるよう申し送り等で周知できるよう努めると共に、カンファレンス等でも話し合いがなされている。	日常会話から、思いや要望を吸い上げ、また、家族からの情報をもとに利用者本位に検討が行われています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントだけでなく、入居後も利用者とのコミュニケーションをとり把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の状況を日々把握して、その日の状況に応じた対応に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者・計画作成者だけでなく、できるだけ多くの職員が計画に参加できるように努めている。又家族や入居者の要望や想いをケアに反映させた計画作成に努めている。	利用者・家族・医師・訪問看護師・職員等の情報をもとに、各ユニットのサービス担当者会議において話し合いが行われ、「立ち上げシート」を活用して介護計画書の作成が行われています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の個別記録だけでなく、利用者の変化については支援経過記録や日誌等に記録して申し送りを行って周知している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			

グループホーム うめの木園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用に心がけ、必要に応じて協力を要請している。(民生委員、ボランティア、消防、警察、医療機関等)		
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医を確認している。協力医との選択をお願いしながら、かかりつけ医を選択しない場合でも要望に合わせ対応している。	本人・家族等の意向を大切に医療機関が選択でき、事業所付き添いで受診、薬の受領等が行われている他、往診や訪問看護も受けられます。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと連携しており、訪問の際情報や気づきを伝え週一回の相談、アドバイス、指示をもらい、適切な受診、看護が受けられるように努めている。夜間も対応できる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院機関と協力医の連携の中で、施設での治療が可能な場合には、早期に退院して往診治療で対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族へ急変時や終末期についての話し合いを、少しずつ始めているところである。	看取りの指針の説明や同意書も取り交わされており、終末期に向けた方針を決められております。	重度化や終末期に向けた方針について、十分に理解され、職員が共有できるように工夫されることを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、異常時の施設内研修を実施している。又消防署の方からアドバイスを受けたりして実践力を身につけるよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中の訓練だけでなく、夜間想定訓練も実施している。又地近所の域住民の協力も得られ、参加してもらった。	スプリンクラーや自動火災報知機が設置され、消防署員立ち会いのもとに年2回の避難訓練が行われており、近隣の協力も得られております。また、毎月、独自の訓練にも取り組まれております。	

グループホーム うめの木園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーについての施設内研修を実施し、職員の意識向上に努めている。	研修にも取り組まれており、共通認識のもとに損ねるような言動は観られませんでした。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が何でも話せる雰囲気作りを心がけ支援に努めている為、個々の思いを積極的に職員に伝えられている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は日課に沿った対応をするだけでなく、利用者の状況、職員の体制、気候等も考慮して、利用者の確認を取りながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	個別での買い物支援等を行っている。利用者・家族が希望した場合はその理容店等を利用できるよう支援している。他の利用者は移動美容店でお店に出かけたのと同じように、理髪・髪染め等を行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立によっては、下ごしらえから利用者に協力してもらい、一緒に会話をしながら楽しく食事をしている。自家菜園で一緒に収穫した野菜を食事に取り入れ、話題を提供し楽しみながら食事している。	皮むきや下ごしらえ、味見、配膳・下膳、食器拭き等のお手伝いをいただき、会話をしながら楽しんで食事をされている様子が窺えました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	開設当初はカロリー計算をしていたが、今年度は行っていない。毎日の献立の食材、分量を把握しており、いつでも計算できるようにしている。食事量の不足な利用者には代替食を提供している。水分に関しては、記録して把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声掛け、介助が必要な利用者には介助して支援している。		

グループホーム うめの木園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	できる限りトイレでの排泄ができるよう支援している。車イスの利用者も日中はなるべくトイレ誘導を行い、オムツの利用を最小限にとどめている。	トイレでの排泄に心がけ、排泄チェック表を用いて排泄パターンを知り、トイレ誘導によって失禁の少ない排泄ケアに取り組まれています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排泄の確認を行うと共に、水分の把握、乳製品の摂取等で対応している。運動不足がちな冬期間は、施設内での運動を多く取り入れたりして対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	夜間入浴支援は対応していないが、利用者がゆっくりと入浴できるよう支援している。入浴嫌いの利用者にはその都度、タイミングを考え声掛けを行い入浴できるよう努めている。	毎日でも入浴は可能ですが、最低でも週に2～3回は入浴していただけるように支援されています。入りたがらない方には、タイミングや職員を変えての声掛けが行われ、対応されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間は就寝時間での対応でなく、利用者が眠れない時にばりピングでテレビを見ながら対応する等している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	協力薬局からの説明を受けたり、薬に変更があった時は申し送り等で周知している。また協力薬局の薬剤師が不定期に施設を訪問して相談に応じてくれている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の生活歴に合わせ、個々ができる事、出来そうな事を見つけ生活に張り合いが持てるよう支援に努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	園庭、園周辺を散歩して地域住民とコミュニケーションが取れるようにしている。利用者が外出を希望する時には家族に直接電話でお願い等している。又個別の外出支援・野外レク等で支援に努めている。	日常的な散歩や利用者の希望に沿った個別対応、また、ドライブや花見、行事への参加、施設訪問、外食等々、普段行けない場所への外出も頻回に行われています。	

グループホーム うめの木園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の自己管理ができる利用者には家族の承諾を得て、その金額以内での対応をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙での交流、電話交流等利用者の希望に応じた支援を行っている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の空間には季節感を取り入れた花や装飾品を飾る等している。又利用者の創作品等も飾られて楽しめるよう工夫している。	明るい日差しのもと、家庭的でゆったりとくつろげるソファやテレビの配置、仲間同士でも利用できる談話室、手作りの作品や写真の掲示等によって、生活感や季節感が取り入れられ、居心地の良い共用空間を作り出しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	リビングにはソファが多く配置され、玄関前には日光浴が出来るように工夫されている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が家庭で使用した物を自由に持ち込まれている。写真や個人の創作品等も飾られている。	利用者一人ひとりが身の回りで必要と思われる位牌や遺影、仏具、筆筒、椅子、小物等々が持ち込まれ、本人にとって居心地の良い空間を作り出しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設はバリアフリーの認定を受けた造りになっている。		